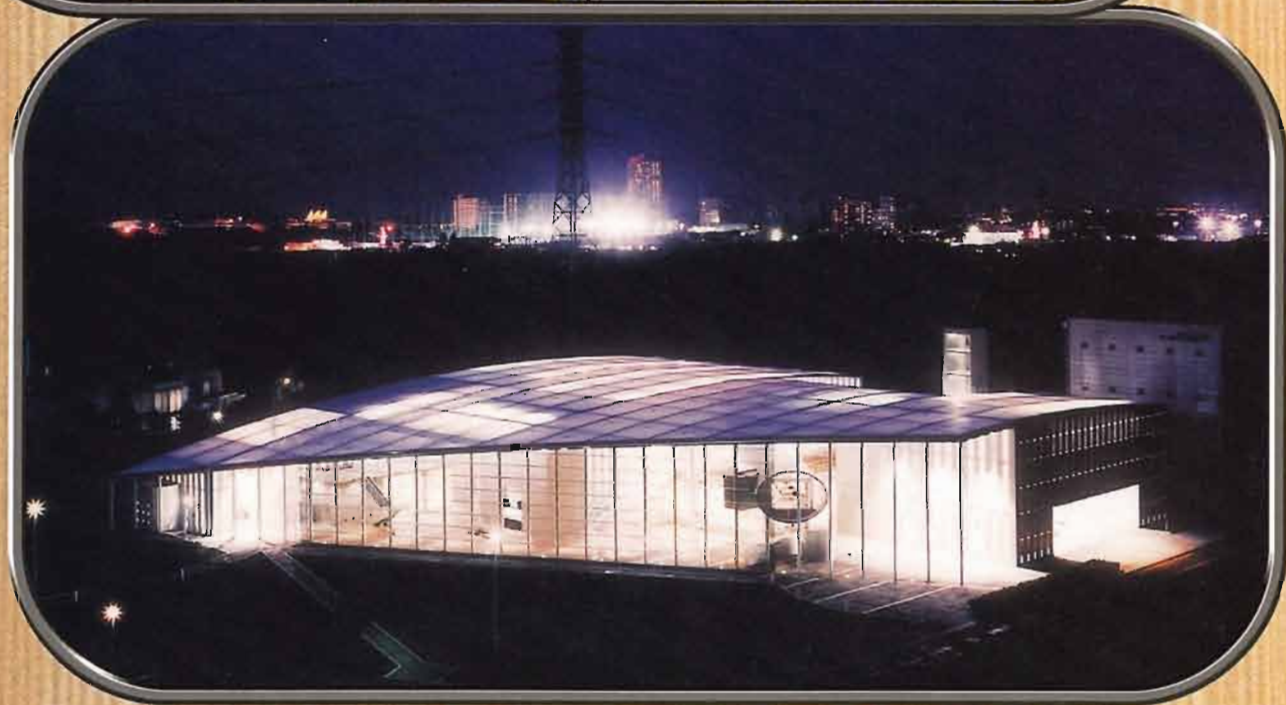


2002年 第9回  
千葉県建築文化賞  
表彰作品集



主催：千葉県 共催：(社)千葉県建築士会

写真 上：幕張ベイタウン・コア (提供 (株)設計・計画 高谷時彦事務所)  
下：日大テクノプレイス15 (提供 日本大学理工学部 海洋建築工学科)  
地：山武杉の銘板 (提供 千葉県木材市場協同組合)



# 千葉県建築文化賞について



千葉県知事 堂本 暁子

平成14年度の千葉県建築文化賞に多くの皆様から御応募をいただき、誠にありがとうございました。

千葉県建築文化賞はすぐれた建築物を表彰することにより、建築文化や居住環境に対する意識を高め、うるおいとやすらぎに満ちた快適な街づくりを推進することを目的に平成6年度に創設いたしました。

第9回目となる今年度は71点に及ぶ多彩な作品が寄せられましたが、選考委員会の厳正な選考に基づき、建築文化賞5点及び建築文化奨励賞4点を決定いたしました。

受賞作品は、周囲の景観に調和し、利用者の要望を重視した魅力的な複合機能施設、誰もが安心して心豊かな生活ができるようにユニバーサルデザインを意識した園舎、自然の光や風を利用した明るく開放的な実験棟、地元の木材を使った人と環境にやさしい展示館など、いずれも2002年の千葉県建築文化賞にふさわしい質の高い先導的な建築物です。

関係の皆様の情熱と新しい発想が込められたこれらの建築物は、地域社会の中で親しまれ、より良い街づくりの推進と今後の建築文化の発展に貢献するものと期待しております。

県としましても、引き続き『主役は県民600万人のちば』を合言葉に、600万県民の一人ひとりが快適で充実した生活を送ることができる環境の整備に努め、個性豊かな質の高い文化が創造できる千葉県を、県民の皆様と一緒につくっていきたいと思っています。

結びに、受賞者の皆様の今後ますますの御活躍をお祈り申し上げますとともに、選考委員や応募された方々、共催団体など関係の皆様の御協力に深く感謝申し上げます。

平成15年 3月

1

目次	千葉県建築文化賞について	… 1	選考経過と総評	… 2
	幕張ベイタウン・コア	… 3	東金市保健福祉センター	… 4
	山武みどり学園	… 5	日本大学理工学部テクノプレース15	… 6
	木と住まいの情報館 モクイチ	… 7	佐原の家	… 8
			かずさ4号公園レストコーナー・トイレ	… 8
	中庭の家	… 9	応募（推薦）建築物一覧	… 10
	麗澤幼稚園	… 9	建築文化賞選考委員会	… 10

# 建築文化賞は5点・同奨励賞に4点を選定

## (選考経過)

第9回千葉県建築文化賞は7月の委員会で募集要領を定め、平成14年8月初旬から9月末まで応募を受け付け、総数71点の応募をいただいた。(部門別内訳は下表のとおり。)

応募総数は前回より17点減少したが、きびしい社会経済情勢の中、幅広く多様な作品をお寄せいただいた関係者の熱意に深く感謝したい。

第1次選考はすべての応募用紙を一堂に展示し、その記載と写真をもとに2回の投票を行ったうえで、景観部門7点、

千葉県建築文化賞選考委員会委員長 北原 理雄

高齢者・障害者部門3点、環境部門4点を選んだ。

次いで11月下旬と12月上旬の3日間をかけ、現地訪問し、建築物の説明を伺いながら詳細に調査した。

第2次選考は平成15年1月開催の委員会で、現地調査の報告を踏まえて再度投票を行い、討議をかさねながら優秀な建築物を選んでいった。

その結果、建築文化賞5点、建築文化奨励賞4点を表彰の候補作品として選定した。

(3部門の対象)	(選考の過程)	応募点数	(1選考) 現地調査	(受賞作品選定)	
				建築文化賞	同奨励賞
景観に配慮した建築物		47	7	2	2
高齢者・障害者等に配慮した建築物		10	3	1	1
環境に配慮した建築物		14	4	2	1
(合計)		71	14	5	4

## 景観に配慮した建築物

応募47点の多くは、建築としての質の高さと景観形成への注意深い配慮を感じさせるものであった。

その中でも、今回は福祉施設に質の高い作品が目立った。

「幕張ベイタウン・コア」は、中庭街区型の集合住宅が並ぶニュータウンの中で、街路に対して開放的な表情をもつコミュニティ施設のあり方が共感と呼んだ。「東金保健福祉センター」も新しい住宅地の中に立つ公共施設であり、曲線や暖かみのある色彩を用い、周辺環境となじんだ景観を生み出している点が評価された。この結果、この2点が建築文化賞とされた。

奨励賞の「佐原の家」は、伝統的な街並みとの調和をはかる建築主と設計者の心意気を感じられ、「かずさ4号公園レストコーナー・トイレ」は小さな作品だが、敷地環境と一体化した景観づくりに配慮している点が評価された。

## (総評)

### 高齢者・障害者等に配慮した建築物

今回、この部門への応募は10点と、前回の半分近くに減少した。残念なことだが、これは必ずしも質の低下を示すものではなく、景観部門の建築文化賞を福祉施設が受賞しているように、高齢者や障害者への配慮が普及し、建築的な質の高さと両立するようになってきたことの証と考えられる。

建築文化賞とされた「山武みどり学園」は、地域に溶け込む施設づくりを目指し、リズムカルな格子を基調とした明るい外観をもっている。現地調査では、入所者の明るい表情が印象的であった。

奨励賞の「中庭の家」はハンディのある子供を自宅で介護している両親と設計者の緊密な連係が、きめ細かな住まいづくりに結実している点が評価された。

## 環境に配慮した建築物

この部門でも応募点数は減少したが、建築的な質の向上が顕著であった。

「日本大学理工学部テクノプレイス15」は、複合的な実験施設を膜構造の大屋根とガラスの風除けで包み込み、省エネルギー環境の実現を試みたものである。「風と光」のコンセプトのとおり、軽やかで明るく、快適な建築である。「木と住まいの情報館 モクイチ」は、地元の材料と地元の職人を使った木造建築という基本的な方法で環境への配慮を示すとともに、金物を使わない木造トラス、ドラフト効果を利用した換気など、環境に配慮した技術的工夫を凝らしている。この結果、この2点が建築文化賞とされた。

奨励賞の「麗澤幼稚園」は緑豊かなキャンパスの一角に建ち、子供たちの健全な発育にきめ細かく配慮した環境を実現している点が評価された。

## 選考の基準

- 千葉県内において、平成9年4月1日から平成14年3月31日までに完成（増築、改築、リフォームを含む）し、現在良好に管理され、また、使用されている建築物で、この表彰の趣旨にそっているもの。
- 機能性やデザインなど総合的にみて優れた建築物であり、次のいずれかに該当するもの。
  - ① 地域の特性や周辺の環境に十分な配慮がなされ、建築物と外部空間が一体となって魅力ある景観を創出し、地域の景観形成に寄与しているもの。
  - ② 安全性・快適性・利便性に優れ、高齢者や障害者等がいきいきと豊かな生活が送れるように十分な配慮がなされ、社会活動への参加が容易に出来るような環境整備がなされているもの。
  - ③ エネルギーの省力化や資源の高度な有効利用を図ったり、地域生態環境と親和させるために、自然を取り入れた建築の工夫がなされるなど、人と環境に対して安全安心で健康快適な室内環境の性能について配慮がなされているもの。
- 建築基準法等の各法令に適合しており、かつ近隣等との紛争が生じていないもの。